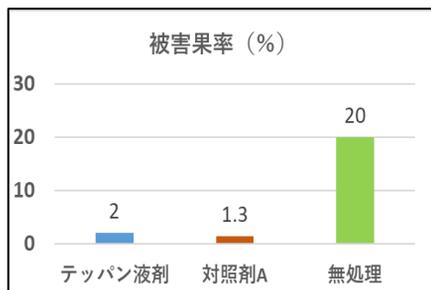


【試験事例①】

神奈川県農業技術センター足柄区事務所 (2015年)

作物名	かんきつ (青島温州)		
対象害虫	チャノキイロアザミウマ	発生程度	少
散布	6月2日、7月15日、8月19日	散布水量	10 L / 1樹
調査	9月14日		
試験方法	1区1樹3反復 1樹あたり50果の果梗部被害を調査した		

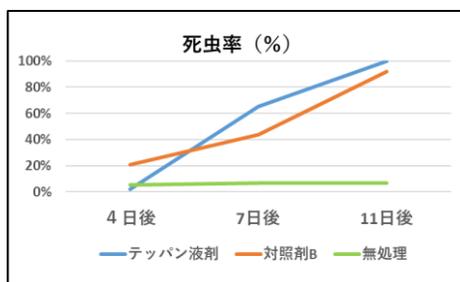
供試薬剤	希釈倍率
テツパン液剤	2000倍
対照剤A	2000倍



【試験事例②】 福岡県農林業総合試験場 (2017年)

作物名	かんきつ (興津早生)		
対象害虫	ケムシ類 (クワゴマダラヒトリ)	発生程度	中 (放虫)
散布	4月21日	散布水量	1枝(0.9 L / 3反復)
放虫	4月21日 (新梢にゴース袋を被せ、その中に20匹放飼した)		
調査	4月25日、28日、5月2日		
試験方法	1区1枝3連制 ゴース袋を外し、生存虫、衰弱虫、死亡虫の数を計測した。		

供試薬剤	希釈倍率
テツパン液剤	2000倍
対照剤B	4000倍



【試験事例③】 佐賀県果樹試験場 (2015年)

作物名	かんきつ (温州みかん)		
対象害虫	ケシキスイ類 (主にヒメヒラタケシキスイ)	発生程度	少
散布	5月5日	散布水量	7 L / 1樹
調査	6月10日		
試験方法	1区1樹 3連制 各樹の赤道部の任意の100果について調査した。		

殺虫剤

テツパン液剤

農林水産省登録第24023号
有効成分…シクフリニプロール…4.5%

テツパン液剤は、かんきつ、かき、つめ、小粒核果類に適用拡大しました。本剤はジアミド系殺虫剤でチョウ目、ハエ目、カメムシ目、アザミウマ目および甲虫目などの広範囲の害虫に効果を発揮します。

害虫の幅広いステージで安定した効果を発揮し、幼虫の発育ステージに関わらず高い効果を示します。また、成虫に対しても殺虫活性や産卵抑制効果を併せ持ちます。主に食毒により作用しますが経皮的にも薬剤が取り込まれ、速やかに中毒症状を示し、摂食行動を停止させます。散布後、長期にわたって安定した効果を発揮し、耐雨性にも優れています。

なお、かんきつにおいてはアザミウマ類、ケムシ類だけではなく、コアオハナムグリ、ケシキスイ類などの訪花害虫に対しても効果を発揮し、幅広い害虫の防除にご使用いただけます。

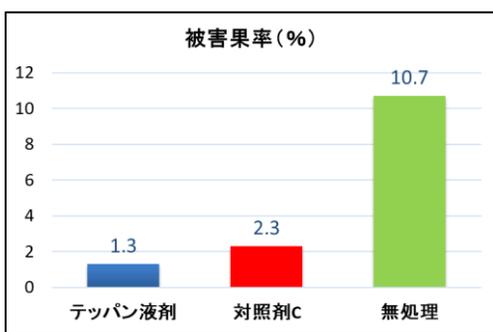
I B J 防除情報

(Ishihara Bioscience Japan = 石原バイオサイエンスの略)

令和2年
9月30日発行
第111号

センチユウ検定サービス実施中!

弊社では、圃場の土壌をご送付頂き、その土壌中のセンチユウ数を測定し、防除計画のご参考にして頂くセンチユウ検定を無料で実施しております。詳しくは裏面弊社支店担当者へお問い合わせください。



ケシキスイ類は、コアオハナムグリとセットで訪花害虫です。開花期に吸蜜する際に幼果を傷つけ、傷つけられた幼果が成熟して被害が確認できます。ケシキスイ類の生態は不明な点が多いですが、圃場周辺から飛来し、開花期中に防除する必要があります。



知って得する?! コラム

クビアカスカシバ (ぶどう)

- ❖ 北海道、本州、九州の広い地域に分布しています。
- ❖ 寄主植物はブドウ科植物と想定されています (未解明)。
- ❖ 成虫は「スズメバチ」に近い外観をしています (写真①)。
- ❖ 年1回の発生で、成虫は特に6月中旬～8月中旬にかけて発生が多くなります。
- ❖ 幼虫の孵化や樹への食入も7月中旬～9月にかけて長く続き、成虫発生終了時に様々なステージの幼虫が存在します。(成虫が発生する時期にバラツキが生じる原因)。
- ❖ 老熟幼虫は、加害部から脱出し、加害部直下の地表に移り、土中で繭を形成し、越冬します(特殊な生態)。
- ❖ 被害樹では被害部より先の樹勢低下が生じ、枝や樹体が枯死に至る場合も多く、収量へ大きな影響がでます (写真②)。



①クビアカスカシバ成虫



②幼虫による被害樹

防除の考え方と位置づけ

防除は成虫対象ではなく**幼虫対象**で、**孵化幼虫が樹に食入する際に薬剤を取込ませて殺します。**

<重要害虫の発生消長>

害虫種	5月			6月			7月			8月			9月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
チャノキイロアザミウマ															
コガネムシ類															
クビアカスカシバ															

**テッパン液剤
散布推奨時期**



多くの産地では、クビアカスカシバを対象に6月～8月にかけて複数回の散布機会があります。この時期は「チャノキイロアザミウマ」や「コガネムシ」も発生しますが、これらの害虫にも高い効果を示す、**テッパン液剤 (2000倍、収穫前日まで、2回以内) で同時防除が可能です!**

石原の農薬適用拡大情報

テッパン液剤

★9月14日に適用拡大しました。

*シクラニプロール

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当たり 使用液量	使用時期	本剤及び有効成分*を含む農薬の総使用回数
かんきつ	アゲハ類、アザミウマ類、ミカンハモグリガ コアオハナムグリ、ケシキスイ類、ケムシ類 ミカンバ工成虫	2,000倍	200~700ℓ	収穫前日まで	2回以内
かき	カキノヘタムシガ、イラガ類				
うめ	ハマキムシ類、ケムシ類				
小粒核果類 (うめ、すももを除く)	ケムシ類				

【使い方：散布】

(適用拡大箇所のみ記載)

ISK 石原バイオサイエンス株式会社 本社 普及部

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-10-2

TEL 03-6256-9170 FAX 03-3263-2078

ホームページ アドレス <http://ibj.iskweb.co.jp>

